

2022年度

事業実績

自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日

Ⅰ - 1. 事業方針(昨年6月総会資料)



(1) 自動車業界の結束強化

- ▼新型コロナウィルス感染収束後の早急な再興、クルマ社会の変革への対応に向けて、 550万人がいる自動車業界をカバーする「総合団体」として業界の結束を強く後押 しする。
- ▼会議所各事業におけるSDGsとの関連を明確化するとともに、業界の取り組み強化に向けた機運・意識の向上を図る

(2) 重点項目への取り組み

- ▼引き続き重点項目(分野)を、「組織運営」「税制」「交通安全」「保険」 「クルマ好き拡大」とし、関係業界の支持・支援の下、諸活動を展開する
- ▼特に、**2050**年カーボンニュートラル達成について、税制はじめ、委員会活動など広範囲に関係が出てくるため重点的に動向をフォローしていく

(3)業界の連携強化

▼日本自動車会館をベースとした会員・業界間の連携強化を継続する

Ⅰ - 2. **重点項目**(昨年6月総会資料)



1)組織運営(ビジョン・ミッションの推進)

- ▶ 550万人の結束に向けた業界機運の盛り上げと総合団体としての認知向上
- ▶ 「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」継続実施(第2回開催)

2) 税制

▶ 車体課税抜本改革の正念場の年であり、最大の重点項目として取り組む

3)交通安全

➤ 「交通安全。アクション」を中心に業界の取り組みPRを継続・強化

4) 保険

▶ 自賠責積立金 6,000億円早期返済の理解活動継続と賦課金の世論喚起活動実施

5) クルマ好き拡大

➤ ホームページ・SNSを活用し、クルマ・イベント情報提供の充実を継続

II. 2022年度事業進捗スケジュール



月	会議所運営・税制関係	事業・委員会関係
4	★13 自動車議連カーボンニュートラル勉強会(第1回)	★ 9-10 交通安全アクション2022新宿 (→8月延期) ★13 会員研修会<交通安全・事故分析>
5	★13 運営審議委員会 <総会・理事会上程議案>	★17 会員研修会<自動運転・高齢化社会>
	★27 理事会 (書面) ★31 自動車議連カーボンニュートラル勉強会(第2回)	★29 交通安全イベント(新宿)
6	★13 総会・理事会 <事業実績・計画/決算・予算案> 懇親会	★13 国交省 自賠責 勘定あり方検討会(Web開催)
		★29 会員研修会 <sdgs・企業戦略></sdgs・企業戦略>
7		★12 国交省 自賠責 勘定あり方検討会(Web開催)
		★22 国交省 令和4年度自賠責あり方懇(Web開催) ★26 会員研修会<国際・ロシア情勢>
8	★6 自動車会館運営委員会総合部会<今年度活動意見交換>	★27-28 交通安全アクション2022新宿(中止)
		人21 20 人远女王/// 1/2022柳旧(下亚)
9	★14 税制部会<委員団体より要望内容ヒアリング>	★13 会員研修会<防災・減災>
	★20 CSP大賞 応募概要発表・公募開始(~11/20) ★22 経団連モビリティ委員会	★29 国交省 自賠責 勘定あり方検討会(Web開催)

月	会議所運営・税制関係	事業・委員会関係
10	★6 第1回税制委員会<税制改正要望書(案)審議>	★13-14 全国専務理事会(宮城)
	★21 税制改正要望書とりまとめ →議員・関係官庁配布	★31 会員研修会<交通安全>
11	★11-12月 税制改革フォーラム SNSメッセージ発信<計8回> ★2 自民党国交部会税制ヒアリング 公明党自動車懇話会税制ヒアリング 政府モビリティ懇話会	★9 国内施設視察会 (茨城・日本自動車研究所(JARI)) ★11 自賠制度を考える会 国交・財務大臣等に陳情活動 ★14 経済・産業委員会<予算関係>
	★21 自動車議連 政策懇談会<税制要望 関係15団体出席>	★25 国交省 自賠責 勘定あり方検討会(Web開催) ★28 交通安全ナスバ展示会(日本自動車会館内)(~12/2) ★30 会員研修会<自動走行>
12	★1-2 CSP大賞第1回選考委員会(方針確認) ■16 与党令和4度税制改正大綱とりまとめ ★21 CSP大賞第2回選考委員会(受賞者決定)	★8 道路・交通委員会<予算関係>
	■23 令和5年度政府予算案閣議決定	■23 自賠繰り戻し(60億)政府案閣議決定

月		会議所運営・税制関係		事業・委員会関係
	★ 5	自動車5団体賀詞交歓会 (新春メッセージ ホームページ掲載)		
			★ 13	金融庁 自賠責審議会(Web開催)
1	★ 16	日本自動車会館ホームページリニューアル	★ 16	国交省 自賠責 勘定あり方検討会(Web開催)
	★ 18	CSP大賞 受賞者公表		
			★ 20	金融庁 自賠責審議会<新たな賦課金導入・保険料下げ 決定>
			★24	会員研修会<業界動向>
	★ 8 ★ 10	経団連モビリティ委員会 CSP大賞 表彰式・交流会	★ 7	国交省 自賠責 勘定あり方検討会(Web開催)
2	★16	税制改革フォーラム ユーザー生の声パネル展示 (自動車会館 ~3/27)	★ 16-1	17 全国会議所専務理事会(大阪)
	* 2	軍堂審議委員会╱理事会ト程議案審議>	★ 1	国交省 被害者保護増進等事業に関する検討会
	★ 2 ★ 3	運営審議委員会<理事会上程議案審議> 第2回税制委員会<額賀自動車議連会長と意見交換>	^-	
3	★ 10	理事会 <事業計画・予算等審議>	★ 10	22年度全国会議所永年勤続者表彰式・懇親会
			★ 17	会員研修会<経済動向>
			★ 30	道路・交通委員会<交通事故動向>
4			★ 8-9	交通安全アクション2023新宿
			703	



■事業分野 進捗状況サマリー

1)組織運営



やるべき事業分野(ミッション)

- 1 自動車の保有・利用環境向上に向けた政策提言
- 2 自動車業界・団体間交流・連携促進
- 3 自動車の利用促進・好感度の向上
- 4 自動車業界の地位・好感度の向上
- 5 上記に優れた実績をあげた人・組織への 替称・褒賞

2022年度主な事業進捗

- ・カーボンニュートラル関連や税制改正において、自動車 議連を中心に業界が連携
- ・<mark>自賠責</mark>は、引き続き繰り戻し活動を行うとともに、新た な賦課金導入での関係団体連携・世論喚起に注力
- ・委員会活動は政策動向の情報共有を中心
- ・コロナの影響が継続も、定時総会懇親会やCSP大賞表彰 式交流会開催など、徐々に交流・連携促進を拡大
- 第2回CSP大賞実施
- ・クルマ・バイク好き拡大事業、SNS情報発信を継続
- ・550万人メッセージ拡大への協力継続

■定時総会・理事会開催(6/13)









総会:10名の理事を再任し、4名の新任理事・3名の新任監事を選任

懇親会:3年ぶりに開催し、約200名が出席

日本自動車会議所 役員等名簿



〔会 長〕<代表理事>内山田 竹 志 学 識 経 験 者

〔副会長〕

豊 章 (一社)日本自動車工業会 会 長 田 男 直 金 子 幹 会 長《新任》 (一社)日本自動車販売協会連合会 克 坂 会 本 己 長 (公社)全日本トラック協会 清 会 長《新任》 水 郎 (公社)日本バス協会

川 鍋 一 朗 (一社)全国ハイヤー・タクシー連合会 会 長 有 馬 浩 二 (一社)日本自動車部品工業会 会 長《

有 馬 浩 二 (一社)日本自動車部品工業会 会 長《新任》 竹 林 武 一 (一社)日本自動車整備振興会連合会 会 長

〔理事〕

赤 間 俊 一 (一社)全国軽自動車協会連合会 会 長 りりょう かくが ィート・マン 日本自動車輸入組合 理事長《新任》

海 津 博 (一社)日本中古自動車販売協会連合会 会 長

〔専務理事〕<代表理事>

山 岡 正 博 事務局担当

〔常務理事〕

畠 山 太 作 事務局担当

〔理事(常勤)〕

橋 本 勝 也 事務局担当



〔監事〕

安原敬裕(一社)全国自動車標板協議会会長《新任》

細谷和男 (株)SUBARU 取締役会長《新任》

原 典 之 三井住友海上火災保険(株) 取締役会長《新任》

〔名誉顧問〕

豊 田 章一郎 (一社) 日本自動車会議所 元会長

小 枝 至 (一社)日本自動車会議所 前会長

以上

トヨタ自動車㈱名誉会長 豊田 章一郎氏 逝去について (同社2/14発表内容より)



(日本自動車会議所 名誉顧問)

1.氏名 豊田 章一郎(とよだしょういちろう) 1925年(大正14年)2月27日生(享年97歳)

2.死亡日時 2023年2月14日(火)午後4:48

3.死因心不全

4.通夜・葬儀 近親者にて内々に執り行なわれました (香料・供花・弔電は固くご辞退)

5.喪主 豊田 章男 (とよだあきお 続柄: 長男)

6.出身 愛知県名古屋市



<お別れの会>
2023年4月24日(月)
ホテルニューオータニ東京他
にて開催



豊田 章一郎氏 日本自動車会議所 略歴

副会長

1986年(昭和61年)6月~1990年(平成2年)6月

会長(第11代)

1993年(平成5年)6月~2012年(平成24年)6月

2002年(平成14年)4月 自動車税制改革フォーラム結成

2004年(平成16年)3月 日本自動車会館開設

2005年(平成17年)10月~2006年(平成18年)12月

道路特定財源一般財源化反対署名活動 1000万人の署名集まる

名誉会長

2012年(平成24年)6月~2017年(平成29年)6月

2012年(平成24年)6月 小枝至会長就任(第12代)

名誉顧問

2017年(平成29年)6月~2023年(令和5年)2月

2017年(平成29年)6月 内山田 竹志会長就任(第13代)

以上

2004年(平成16年)3月 日本自動車会館開設祝賀会・除幕式の一コマ











豊田章一郎氏悲願の「日本自動車会館」 日本の自動車業界が団結するきっかけに



(2023.2.15付 日刊自動車新聞電子版)



豊田章一郎氏が死去した翌日、日本 自動車会館には半旗が掲げられた

東京タワーを間近に望む東京都港区に「日本自動車会館」がある。製造系の日本自動車工業会(自工会)、販売系の日本自動車販売協会連合会など、自動車関連の約20団体が2004年から入居しているビルだ。

分散していた主な自動車関連団体を集結させる会館構想を唱えたのは、14日に死去した 豊田章一郎・トヨタ自動車名誉会長だった。日本自動車会議所の会長時代(1993年~ 2012年)に提唱したが、90年代は地価が高かったり、各団体の財政事情もあって具体 化には至らなかった。

しかし、自工会の移転話などを機に2001年から会議所内部で具体的な検討が始まり、 同年9月には関係団体による検討委員会ができて実現に至る。敷地にある「日本自動車 会館」の文字は豊田名誉会長が揮毫(きごう)したものだ。

豊田名誉会長は悲願の会館実現に喜んではいたものの「いつかは自前の会館を建てたいね」と、なお意欲を燃やしていたという。

死去の翌日、日本自動車会館には半旗が掲げられていた。

享年97歳。ご冥福をお祈りします。

■「第2回(2022年度)クルマ・社会・パートナーシップ大賞」の実施 ~日本自動車会議所感謝表彰~





- ○日本自動車会議所が1946年(昭和21年)から<u>創立75周年の</u>節目となる新たな事業として、第1回 (2021年) に続き、第2回(2022年) を実施
- ○今回(第2回)より経産省・国交省・JAF・自動車総連の後援をいただく

主催

日本自動車会議所 全164会員 日刊自動車新聞社

後援

経済産業省、国土交通省、日本自動車連盟(JAF)、全日本自動車産業労働 組合総連合会(自動車総連)

的

自動車業界で働く人々や、自動車ユーザーを含めた自動車にかかわる全 ての方々が、わが国の社会や自動車業界に果たしている貢献に対して、 「ありがとう」と感謝の意を伝える

表彰を通じて、それぞれの貢献の取り組みにあらためて注目を集め、認知 を広げることで、同じような取り組みが拡大していく一助とする

応募対象

に実際に取り組む自動車業界で日々の業務・活動 働く方々や自動車ユー ザー(地域は全国)



- (1)モビリティに関する課題や、モビリティの手段を通した社会課題の解決に取り組ん でいる。(例:交通安全、公共交通、MaaS等)
- (2)地域や自治体と協働・連携し、地域活性化に取り組んでいる(含:災害・緊急時)
- (3)SDGs目標達成につながる取り組みを行っている(含:教育、健康、福祉)
- (4)ユーザーとして自動車を大切に取り扱い、性別や年齢等に関わらず幅広い層から 評価されうる取り組みを行っている

受賞構成

選考委員会が行う応募内容の厳正・公正な審査により、大賞ならびに大賞 に準ずる部門賞・各賞を選定(受賞数・詳細は選考委員会が決定)

関連日程

- 応募開始 (1)22年 9月20日
- (実績)
- 11月30日 応募締切
- (3)年内 選考委員会による受賞者選定
- (4)23年 1月18日 受賞者公表
 - 2月10日 表彰式 開催都内会場で当会議所会長より表彰状授与

選考委員 名簿







関根 千佳 ㈱ユーディット 会長兼シニアフェロー



森 摂 ㈱オルタナ 代表取締役社長 「オルタナ」編集長



加藤 和夫 (一社) 日本自動車販売協会連合会 理事相談役



田口 亜希 (公財) 日本財団パラスポーツサポートセンター 推進戦略部ディレクター



主催者事務局 山岡 正博 (一社) 日本自動車会議所専務理事

主催者事務局 花井 真紀子 (株)日刊自動車新聞社取締役

応募増に向けて ロゴと愛称の決定



1. ロゴデザイン



ロゴデザイン説明…

クルマ・社会・パートナーシップの英訳であるCar・Society・Partnershipの 頭文字3文字をデザイン。良好な相互関係を表す握手のピクトグラムを加え ロゴとした。

2. 愛称



「CSP大賞」(シー・エス・ピー たいしょう)

愛称説明…

ロゴと同様の考え方で、クルマ・社会・パートナーシップの英訳である Car・Society・Partnershipの頭文字3文字をとり、おぼえやすさと呼びやす さから愛称とした。

3. ロゴ・愛称のデザイン組み合わせ標記例





応募増に向けて チラシ(見開き4ページ)を制作 1万部を用意







2021年 第1回 クルマ・社会・パートナーシップ大賞 受賞事業一覧

大賞・紹門賞・特別賞 受賞者 (グッドパートナーシップ 19 事業より選定)

「公共交通機関の空日地域における地域位別の子でなしとけた契内的の日勤運転/「スの社会実験に向けた減活動」

モビリティ・ソリューション賞 日本交通株式会社 (東京都千代田区)

紅縁の方等が事前登録で簡単に緊急時にタクシーを呼ぶことができる都内犯となるサービス「陣礁タクシー」

SDGS 貢献賞 株式会社タウ (さいたま市中央区)

製書車・水没幸のリコース・リサイクル「カー・トリアージ」の推進や軟末期参者を希望の場所までお達れする 「単いのくる会」 等の経済数

地域・コミュニティ活性化質 赤碕ダイハツ有限会社(角取県等浦町)

はこれるのでは整備事業者が連携した「等請モビリティグループ」による地域の回動車モビリティ確保に

■探賞 一般社様法人日本カーシェアリング協会(宮城県石器市)

者支援としてカーシェアリングなどクルマを送用した新し、く支え合いの仕組み付けるではた活動

ブ(福岡県北九州市)/前野モータース(岩手県電差町)

シップ受賞事業者一覧 (五十音順、上記音賞受賞事業者を除く)

泉知谷市) /アサヒタクシー (M) (広島県福山市) / (M) 日田ファインモータースクール /会宝産業 (株) (石川県会沢市) /特定会営利活動法人日本ソーブポックスダービー協会 (一社) 東京ハイヤー・タケシー協会 (東京都千代田区) /日産自動車 (減) (計会(日帰産災約) B品工業会安全装量部会(東京都洋区)/ネッツトヨタニューリー北大版(株)(大阪府豊中市) 飛其動物) / (株) 北陸マツダ (石川県野々市市) / (株) ホンダカーズ端玉 (端玉県さいたま市)



大賞を受賞した実施事業的

◀ 各受賞事業の詳細はこちらへ

応募増に向けて 日刊自動車新聞(9/21付) 内山田会長-鎌田選考委員長対談記事掲載





応募結果



- ○応募件数は68件(前回第1回は75件)
- ○応募事業者別では自動車部品・用品メーカー関係や自動車ディーラー・流通 関係、領域別では交通安全や環境、福祉・健康に関係するものが多い

応募事業者(メイン)業界別	件数
自動車(完成車)メーカー	2
自動車部品・用品メーカー関係	17
自動車ディーラー・流通関係	2 0
トラック・物流関係	
旅客運輸関係	
自動車整備関係	
その他(保険・観光・ジャーナリスト等)	
合 計	

()…うち会議所 会員

(12)

(2)

(3)

(3)

(20)

領 域 別(重複する応募あり)	件数
交通安全	1 0
災害支援	4
地域経済支援	7
地域自動車業界連携	
SDGs関係 (環境等)	
地域交通課題対応	
福祉・健康・障害者/介護等支援	
その他(保険・自動車利用・技術開発・ 国際)	
合 計	7 0

第2回CSP大賞受賞30事業

1. 大 賞

十勝バス(株) (北海道帯広市)

★KPMGモビリティ研究所

2. 選考委員特別賞

豊田合成(株)(愛知県清須市)

3. 部門當

(1) モビリティ・ソリューション賞

トヨタ自動車(株) (愛知県豊田市)

<モバイルトイレ>

- ★NPO法人アクセシブル・ラボ ★㈱五光製作所
- ★札幌ボデー工業㈱ ★㈱サン自動車工業

<車中泊>

★豊田市 地域振興部 市民安全室 防災対策課 **★**カーネル(株)

ソニー損害保険(株) (東京都大田区)

(2)地域・コミュニティ活性化賞

トヨタモビリティ東京(株) (東京都港区)

(株)ホンダカーズ東総

(千葉県旭市)

栃木トヨタ自動車(株) (栃木県宇都宮市)

(3) SDGs貢献賞

(一社)日本自動車販売協会連合会 (東京都港区) (一社)東京都トラック協会

(一社)東京都トラック協会 (東京都新宿区)

(4) 自動車ユーザー連携賞

神奈川トヨタ自動車(株) (神奈川県横浜市)

(公社) 自動車技術会 (東京都千代田区)

4. グッドパートナーシップ事業

WHILL (株)
(東京都品川区)
TOYO TIRE (株)
(兵庫県伊丹市)
鹿児島トヨタ自動車(株)
(鹿児島県鹿児島市)
(株)オークネット
(東京都港区)

ネッツトヨタ瀬戸内(株) (愛媛県松山市)

★久枝地区まちづくり協議会

愛三工業(株) (愛知県大府市)

(一社)長野県自動車販売店協会 (長野県長野市)

★・・・共同応募事業者

トヨタ紡織(株) (愛知県刈谷市)

東京都中古自動車販売商工組合(東京都足立区)

交通安全プロジェクト 「OKISHU」

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 (東京都港区)

> 山形日産グループ (山形県山形市)

★山形日産自動車㈱

★日産プリンス山形販売㈱

★山形日産自動車販売㈱

(株)ShareTomorrow (東京都中央区)

★三井不動産(株)

(株)豊田自動織機 (愛知県刈谷市)

ネッツトヨタニューリー北大阪(株)

<u>(大阪府豊中市)</u>

(株) C Nホールディングス (千葉県千葉市)

カヤバ(株)

<u>(東京都港区)</u>

(株) IDOM

(東京都千代田区)

★オクト産業㈱

★元神奈川県医療危機対策統括官 畑中洋亮氏

やまなみ交通運営協議会(京都府南山城村)

表彰式概要



- (1) 日 時:2月10日(金)15:00~16:30 (終了後に交流会開催 ~17:30目途)
- (2)場 所: 芝パークホテル 2階ローズ (東京都港区芝公園1-5-10)
- (3) 出席者:○自動車会議所内山田会長・日刊自高橋社長
 - ○鎌田選考委員長・各選考委員
 - ○大賞・選考委員特別賞・各部門賞受賞者
 - ○グッドパートナーシップ事業受賞者(オンラインのみ)
 - ○後援官庁・団体
 - ○会議所役員(監事1名)・理事団体事務局 (会場・オンライン) 会場出席 計43名
- (4)次 第:・主催者代表挨拶 <内山田会長>
 - ・選考委員長講評 <鎌田選考委員長>
 - ・受賞事業の紹介 <山岡選考委員・花井選考委員>
 - ・表彰状・副賞授与 <内山田会長・高橋社長>
 - ・選考委員コメント<田口委員>
 - ・受賞者代表プレゼンテーション <大賞受賞者(十勝バス)>
 - ・閉会挨拶 <高橋社長>

(終了後 記念撮影・交流会会場に移動)

表彰式・交流会の模様



大賞表彰状を受ける十勝バス野村社長



受賞後ステージ上での記念写真





十勝バスのプレゼンテーションで現地 からの映像



十勝バス マルシェバスに掲げられた受賞記念横断幕



交流会で選考委員と意見交換する受賞者

CSP大賞 表彰関連報道(一部ご紹介)





を東京都内で開催した。 (質にトヨタ自動車などが

クルマ・社会・パ

トナーシップ大賞

スが大賞受賞

の車いす修理、トヨタは車

続く社内有志「車イスドク

2 日 上

体な物品販売を行うマ

長(トヨタ自動車会長)は 一受賞皆さんの取り組みは

中部経済新聞(23.2.11付)

り組みに感謝を伝え、

唇発活動が評価された。 被災者への車中泊に関する

同質は自動車業界で働く

CSP大賞 地域住民と祝う

十勝バスが授賞式中継



のある賞と感じており、

授賞式会場には野村文吾

ーシップ大 ニティ かち合った。 結び、地域住民と喜びを分 場をインター いターミナル」と授賞式会 ネッ ト中継で

きたい」とあいさつ。にぎ 出動。授賞式の最後は、 この日はマルシェバスも620人が拍手を送った。 を見守った地域住民と社員 いターミナルでは、 引き締まる思い。

取り組みは評判。今後も地域で応援していきたい」と 高齢者が多く、 連合自治会の西島寛会長 喜びの声を届けた。大空町

任会・パートナーシップ大に輝いた「第2回クルマ・

(CSP大賞) 」の授賞

な社会貢献活動などを表彰

北海道新聞 (23.2.11付)

さらに



テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」 (23.2.10放映)

2年連続の放映



(CSP)大賞」の表彰 ズ(写真)を開き、十勝 バス(北海道帯広市) のM a a S (乗り物の サービス化)実装に向 けた諸活動に大賞を授 与した。住民の生の声 を聞くなどアナログ重 会・パートナーシップする「第2回クルマ・社 車業界への貢献を表彰 日本自動車会議所

「クルマ大賞」記念 マルシェバス運行

会は10日に開かれ、同卸売賞の取り組みの一つ。販売

たマルシェバスは、

市場の買い受け人となった

大空地区にぎわう

一勝バス(帯広市、

野村

約販売を行っている商品や

地域住民向けに予

左から内山田会長、野村社長、共同応募者のKP MGモビリティ研究所・小見門恵所長、高橋社長

交通毎日新聞 (23.2.16付)

各質の表形に続き、

た、鎌田安地等

クター が非常に素晴らしい。 ヹ

全国から熱意と創意の

68 件

特別賞

豊田合成

十勝バスのMaaSに授与日本自動車会議所 視型の取り組みを評価

十勝パスは市内循環 ・ 大に努めた。また店舗 ・ 大に努めた。 ・ 大に多い。 ・ 大にもの。 ・ 大に

第2回CSP大賞

日刊工業新聞 (23.2.14付)



□為後回 ※四次第 □表表 電子版で 無料

が車両内に並び、 や果物など約30種類の商品卸売市場から仕入れた野菜 販売会を行った。帯広地方念で、マルシェバスによる が商品を購入した。 区で「クルマ・社会・パー 文吾社長)は、 トナーシップ大賞」受賞記 約1年ぶりの運行となっ 市内大空地 地域住民 販売した。 買い求める客でにぎわっ 足を運び、車両内は商品を 卸売市場お薦め商品などを 開始前から多くの住民が

を増やさないと、あっといものを利用すればそれほど 後に期待を寄せた。 ウなどを購入。「こういう に住む女性 (85) は、 な粒のイチゴやホウレンソ う間に売り切れる」と、 買い物に訪れた大空地区 大き 今

信。地域住民らがお祝いに ミナル内でオンライン配 賞式の様子をにぎわいター東京都内で行われている授 駆け付け、野村社長のスピ -チを見守った。 販売会が終了した後は、

(完戸雅美)

十勝毎日新聞 (23.2.21付)

25

■自動車5団体 550万人メッセージ拡散への協力

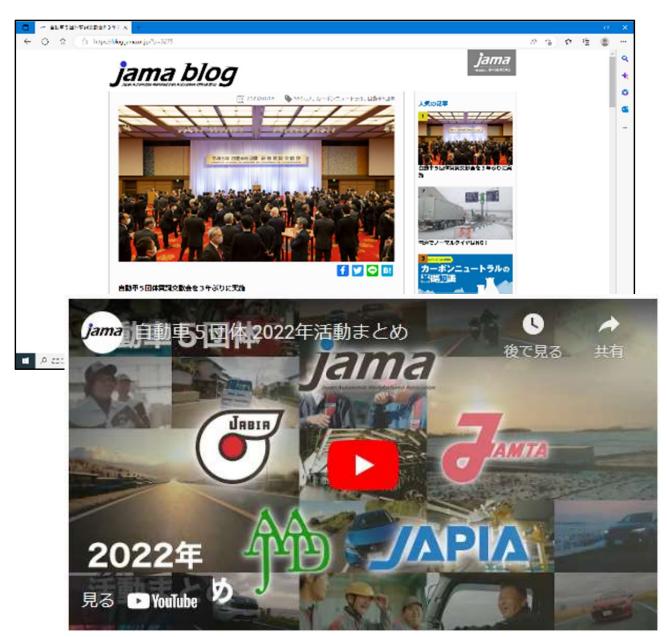


(日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本自動車車体工業会、日本自動車機械器具工業会、日本自動車販売協会連合会)

- ・1/5に3年ぶりに開催された「自動車5団体新春 賀詞交歓会」において、自動車産業550万人の皆 様への感謝も込めて前向きなメッセージを発信。 自工会のブログで挨拶の全文と2022年自動車5団 体振り返り映像を発信。
- ・会議所として、会員団体・企業のホームページ等 への掲載による拡散の協力を実施。



メッセージ発信用のバナー



■自動車議員連盟への対応(1)

2)税制



<カーボンニュートラルに関する自動車政策勉強会(**4·5**月)>



第1回(4/13) 議員51名出席

1. テーマ別説明

- (1) 電力の国際競争力ある脱炭素化
 - ・エネ庁 長官官房総務課 西田戦略企画室長
- (2) 国際競争力ある国産電池
 - ·経産省 野原商務情報政策局長
 - ・トヨタ自動車 土屋EHV電池設計部長
- (3) BEV(バッテリーEV)・FCV戦略
- ・いすゞ自動車 一政常務執行役員
- 2. 意見交換
- 3. 業界代表まとめ
 - ・ 自工会 長田総合政策委員長



第2回(5/31) 議員59名出席

1. テーマ別説明

- (1) 水素・アンモニアの活用
 - ・エネ庁 茂木省エネ・新エネ部長
 - ・水素バリューチェーン推進協議会 福島事務局長
- (2) 合成燃料・バイオ燃料の活用
 - · 自工会 林燃料潤滑油部会長
- (3) 税制改正に関する考え方
 - ・自工会 長田総合政策委員長
- (4)カーボンニュートラルに関する 自動車関連政策の状況
 - ·経産省 藤木製造産業局長
- 2. 意見交換

■税制改正要望書とりまとめ(10/21)

税制委員会審議を経て取りまとめ。官庁・議連幹部等に配布



第1回税制委員会(10/6)

2023年度 (令和5年度) 税制改正に関する要望書

2022年10月

一般社団法人 日本自動車会議所

■自民党・公明党ヒアリングへの対応**(11**月)

「カーボンニュートラル実現に向けた税制のあり方議論」 「現行エコカー減税の延長 | などを要望



自民党国土交通部会(11/2)



公明党自動車議員懇話会(11/2)27

■自動車議員連盟への対応(2)

2) 税制

<自動車政策懇談会開催(11/21)>



15団体による税制要望説明・内山田会長が代表挨拶 議員98名出席



冒頭挨拶する額賀 議連会長



政策懇談会を総括する 塩谷議連幹事長



本議連の下に設立された 「モビリティを軸に成長す る未来社会を考える会」に ついて報告する甘利・同会 会長

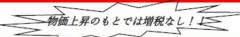
<「自動車業界緊急要望」配布(議連当日)>

最終局面の論議を踏まえ「現行エコカー減税の据え置き」 「走行距離課税断固反対」を強力に主張

> 令和4年11月 (一社)日本自動車会議所

令和5年度(2023年度)税制改正

自動車業界緊急要望



- 1. エコカー減税(重量税)の据え置きなど確実な延長・拡充
- 2. 自動車税・軽自動車税のグリーン化特例等の確実な延長・拡充
- ▶ 厳しい物価高と、年度をまたぐような納期長期化に直面する消費者の負担増を 回避するため、実質的な増税となるようなエコカー減税等の対象絞り込みは行 わず、現行水準で据え置くなど、制度を確実に延長すべき
- ▶ カーボンニュートラル (CN) に向けて、電動車等への買い替えが促進されるよう、減税措置を拡充すべき

3. 走行距離課税や出力課税などの穴埋め増税には断固反対

- ▶ 走行距離課税は、電動車の普及にブレーキになることや、地方の方々や 物流事業者の負担が増えること等課題も多く、国民的議論もないまま拙速 に進めることは断固として反対
- ➤ EV/FCV は、当面は普及促進を加速させる必要があり、当該車両の<u>自動車税</u> <u>のみなし課税は維持すべき</u> (1ℓ 以下: 25,000 円)。

(「出力」を課税標準にすることは、簡素化の流れにも逆行し、反対)

2)税制

■JAF・税制改革フォーラム活動

<SNS(ツイッター)・マンガ形式の活用>

ツイッター上で、キャラクター「カー太」 くんが、マンガ形式で、モビリティ社会の 課題やクルマの税金の不合理を訴える。(3 年目)。11-12月の間に8テーマをツイート。 エンゲージメント率(投稿への反応率)は 前回 $4.8\% \rightarrow 5.6\%$ に増加。



10万回近く表示された12/9の投稿

<ユーザーの声を集める活動の展開>

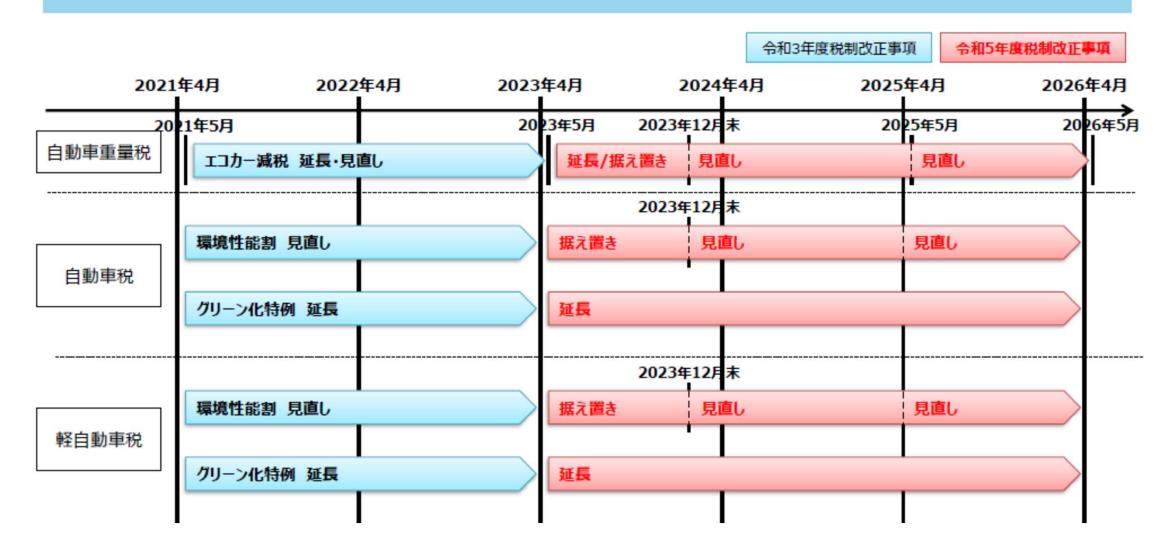
「ユーザーの声を集める活動」を再開するとともに、昨年実際にユーザーに書いていただいた実物パネル約**300**名分を日本自動車会館1階エントランスホールにて初めて展示。

 $(2023.2.16 \sim 3.27)$



■令和5年度(2023年度)税制改正結果 車体課税全体概要(経済産業省資料より)

- <u>厳しい物価高と納期長期化に直面する消費者の負担増を踏まえ、エコカー減税、環境性能割について、異例な措置として現行制度を2023年末まで据え置く。クリーンディーゼル車に対する現行の取扱いも、2023年末まで延長。</u>
- 据え置き期間後は、燃費性能の向上を踏まえつつ、現行の優遇規模を維持する形で、2025年度までの見直しを実施。



■令和5年度(2023年度)税制改正大綱 検討事項



第三 検討事項

4 自動車関係諸税の見直しについては、**日本の自動車戦略やインフラ整備の長期展望**を踏まえるとともに、

「2050年カーボンニュートラル」目標の実現に積極的に貢献するものでなければならない。その上で、<mark>自動車の枠を</mark>

超えたモビリティ産業の発展に伴う経済的・社会的な受益者の広がりや保有から利用への移行、地域公共交通へのニーズの高まり、CASEに代表される環境変化にも対応するためのインフラの維持管理・機能強化の必要性等を

踏まえつつ、国・地方を通じた財源を安定的に確保していくことを前提に、**受益と負担の関係も含め**、公平・中立・

簡素な課税のあり方について、中長期的な視点に立って検討を行う。その際、電気自動車等の普及や市場の活性

化等の観点から、原因者負担・受益者負担の原則を踏まえ、また、その負担分でモビリティ分野を支え、<u>産業の成</u>

長と財政健全化の好循環の形成につなげるため、<u>利用に応じた負担の適正化等に向けた具体的な制度の枠組み</u>

について次のエコカー減税の期限到来時までに検討を進める。また、自動車税については、電気自動車等の普及等のカーボンニュートラルに向けた動きを考慮し、税負担の公平性を早期に確保するため、その課税趣旨を適切に踏まえた課税のあり方について、イノベーションへの影響等の多面的な観点も含め、関係者の意見を聴取しつつ検討する。

■交通安全アクション2022新宿(中止)

3)交通安全

■ナスバギャラリー展開催(**11/28**

-12/2)

→ 当初4/9·10開催予定も、コロナ感染拡大の 影響で最終的に中止

→ 同**2023**新宿は、本年**4/8(土)・9(**日)に開催

4年連続で日本自動車会館ロビーで事故被害者遺族の作品を展示



ロビー展示の様子

出品者も駆けつけ自身の展示を見学

■新宿警察署交通安全イベントへの協力

アクション**2022**中止の代替対応として、新宿警察署の交通安全イベント(5/29)にトヨタ・日産・ホンダのサポカーを展示



展示の模様はTVニュースでも放映



当会SNSでも来場を呼び掛け

■各会議所の各種交通安全イベントへの協力

全国自動車会議所の関連する交通安全イベントに俊敏性測定 機器を貸出し貢献





会議所名	イベント名
岐阜	令和4年度明知鉄道沿線地域
	公共交通シンポジウム
高知	第30回交通安全ひろば
福島	「くるまの点検フェア 2022」
神奈川	第45回「自動車なんでも相談所」
岐阜	交通安全・環境イベント

4)保険



- ■自賠責積立金 約5,900億円早期返済の理解活動継続と新たな賦課金導入への対応
- ・国交省「今後の自動車損害賠償保障制度のあり方に係る懇談会、 金融庁の「自動車損害賠償責任保険審議会(自賠審)」に本年も 参画。
- ・事故被害者救済の安定的実施の財源を議論する国交省の 「今後の自動車事故対策勘定のあり方に関する検討会」に参画 (今年度計6回開催)
 - ⇒全額繰り戻しに向けてのロードマップの必要性を訴えた
- ・「自動車損害賠償保障法(自賠法)」が通常国会で審議の際、 「考える会」座長が衆参国交委員会の参考人として意見陳述。 成立にあたり多くの<mark>附帯決議が明記</mark>
- ・これまでの報道関係者との人脈を活用し、<mark>効果的に世論を</mark> 喚起する活動を実施
- ・「考える会」として国交大臣、財務副大臣、額賀自民党自動車 議連会長ほかへの<mark>要望活動を実施</mark>。



検討会(オンライン)で意見陳述する当会議所加藤憲治保険特別委員長(左上)

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
繰戻額 (億円)	23	37 (12)	40 (8)	47 (8)	54 (12)	60

()内は補正予算による追加繰戻額



2023年度(R5年度)予算で6年連続での繰り戻し(60億円)が実現 (2022年度の補正予算として12億円も追加で繰り戻し)

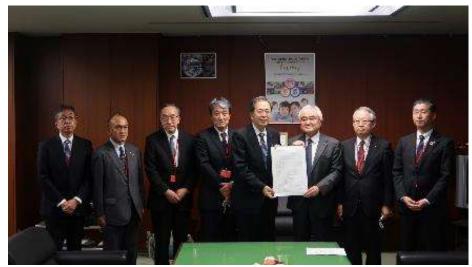
■自賠制度を考える会 要望活動(11月11日)

4)保険



斉藤鉄夫国土交通大臣、秋野公造財務副大臣、額賀福志郎自民党自動車議連会長、自動車総連顧問議員(礒﨑哲史議員、 浜口誠議員)に要望書を手渡す

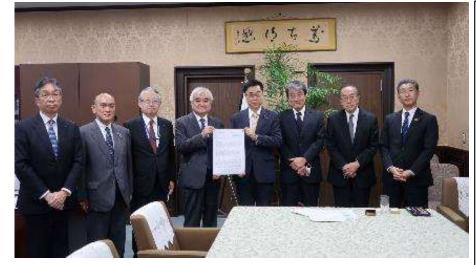
①斉藤鉄夫国交大臣



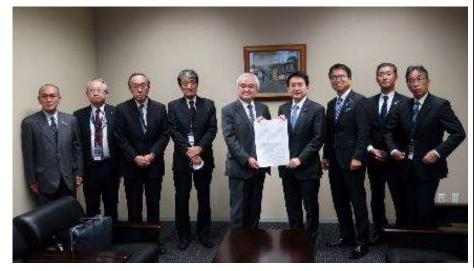
③額賀福志郎自民党自動車議連会長



②秋野公造財務副大臣



④自動車総連顧問議員



<要望書>

自動車安全特別会計からの一般会計繰入金に係る要望

会和4年11月11日 自動車指導際信保障制度を考える会

白魚車圏古路質保険制度は、白魚車ユーザーの支払った保険料で、不幸にして交通多数の 被害に遭った人たちの教持を確かなものにするための、世界に約れる基助の仕組みです。

とりわけ、自榜費の保険料から交通事故被害者への支援を申るとする交通事故対策のため に確立てられた資金は、被害者やその家族の介を支える様々な事業に用いられますが、この 確立会は、特別会計から一般会計に貸し出されたまま、未だに 5,962 億円(今和 4 年度未足 3)が返送されずにいます。

被害者核済対策の重要性、ならびに事業の特値可能性を拠らえた判断により、平成30年 接予算にて 23.2 億円、金和元年度 37.2 億円、金和3 年度 47.6億円、金和3 年度 47.億円、金和3 年度 47.億円、金和3 年度 51.億円と、5 年建建で一般会計から減り戻されました。また、金和3 年 12 月、新たに財務大臣と関土交通大臣との関で交わされた合衆文書において、単年度予算編成が基本なる中、天皇的には合和4 平度の機悪し難である 51.億円を最低ワインとしつつ、金食期間である今後3 年間、理秘的に減度した実施する資本とが記載されたことは現本の要素を汲み取っての担果と会計止めております。

所年の交通事故が者数が統計開始以来最小の2,688名となった現在においても、介護を必要とする直接後継線書番級に構成いの状況が続いております。合和3年7月に取りまとめられた「全核の報告を教育対策のあり方に関する検討会」製造書において、介護者なき後への備えを含めた単数被害者教の企業が提示されたことは、中長期的に開電が機関化している事故被害者数でにその実施の状況に認うた対応であり、さらに、「全核の自動車事故対策値かのあり方に関する機関分」に扱いても被害者等支援対策・自動車事故至生防止事業の充実・操化について、引き機合機計がなられています。

先の通常国会において、自動車損害賠償保障法が改正され、自動車等效対策事業が本期に 恒久的に実施することが書き込まれ、拡充した民議会を計算に「被害者支充」・「事故助止」 を特別的に実施するる枠組みは懸いました。しかしながら、本種度準入にあたっては、保護 該・参議終双方において所述決験事項があることを忘れてはなりません。

全和5年度予算における機械制の更なる増加と併せ、客利化の進む施騰センターの連禁も 迫っていることから、今後の全額返済に向けた一層の取組を強く求め、附着決議に記された 事項の中で、特に以下の2項目を装置いたします。

- 緑人全規制の<u>約 6,000 億円全</u>額を被害者支援対策・事故防止対策が安定的・継続的に 将来にわたって実施されるよう、令和 3 年 12 月の<u>新たな大臣間合業を最低対策守</u>し、 一般会計から<u>早度かつ着芝に繰り戻す指置を選ずる</u>こと
- 2. <u>新たな機器金の導入</u>に当たっては、被害者支援対策・事故防止対策に係る重額の現状 及び機能について

 (取扱いた)で (取出いた)で (取せい)で (取せい)で

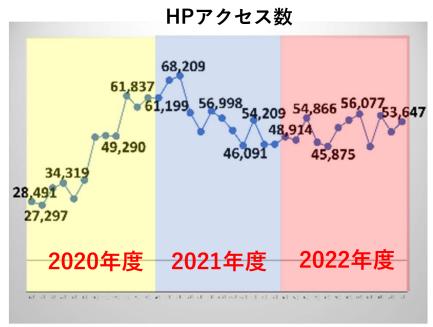
12

5) クルマ好き拡大



- ■創立**75**周年を機にホームページデザインをリニューアル。画像・動画の活用を大幅に拡大
- ■SNS情報発信は3年目に入り、ツイッター・フェイスブックほぼ毎日更新中特にTwitterフォロワー数が伸長







Twitter フォロワー数 2021年 9月 約160 2023年 4月 約940 7 7



Facebook フォロワー数 2021年 9月 約200 2023年 4月 約240 ↗

6) 会員サービス

■会員研修会:感染対策を行いつつ、自動車に関連するテーマを中心に さまざまなテーマで9回講演会を開催。リモート参加も拡大中

(肩書は当時)

2022. 4/13	交通事故における歩行者傷害低減に向けた取り組み	独立行政法人 自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 主席研究員 松井靖浩氏
5/17	人生100年時代のモビリティを考える 〜自動運転の普及と消費者意識〜	第一生命経済研究所 取締役 ライフデザイン研究部長兼主席研究員 宮木由貴子氏
6/29	SDGsを羅針盤に企業の持続可能戦略を考える 〜未来から選ばれる企業になるために〜	一般社団法人 中部SDGs推進センター 代表理事 戸成司朗氏
7/26	ロシア制裁は世界経済に何をもたらすか	元ウクライナ大使館専門調査員 元ロシアトヨタ社長 エコノミスト 西谷公明氏
9/13	危機への対処にみる日本の課題	政策研究大学院大学 客員教授 元国土交通事務次官 徳山日出男氏
10/31	高齢者の運転戦略としての安全ゆとり運転	実践女子大学教授 松浦常夫氏
11/30	物方则生(一同儿子)日朝七行由(八社会主华(八里铝	明治大学 自動運転社会総合研究所 技術部門長 萩原一郎氏
2023. 1/24	自動車産業の展望 〜カーボンニュートラルに向けたCASEの変革と 2023年の業界動向〜	ナカニシ自動車産業リサーチ代表 自動車アナリスト 中西孝樹氏
3/17	グローバル経済の局面変化と経営・人材戦略の転換	日本総合研究所 副理事長 山田久氏







宮木由貴子氏(5/17)



戸成司朗氏 (6/29)



西谷公明氏 (7/26)



徳山日出男氏 (9/13) 松浦常夫氏 (10/31)





萩原一郎氏(11/30)



中西孝樹氏 (1/24)



山田久氏 (3/17)

■国内施設視察会(11月)

6) 会員サービス



2年ぶりに開催し、19名が参加。JARIつくば研究所 の衝突実験場・特異環境試験場等を見学(2022.11.9)



■広報・出版:特別号含め会議所ニュース8回発行



■全国自動車会議所連携

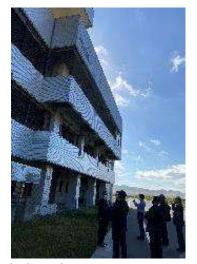
<全国専務理事会>

年2回予定通り実開催にて現地実施

- ○秋期 宮城県開催(2022.10.13-14)
- ○春期 大阪府開催(2023.2.16-17)



全国専務理事会(大阪)の様子



「防災意識を忘れない」をテーマ に南三陸町被災地も視察(宮城)

<永年勤続者表彰式>

22年度は4年ぶりに通常通りの形式で実開催(2023.3.10)



内山田会長を囲んで記念撮影

受彰者(4会議所8名)

- ・佐藤 友康さん(福島県)
- ・杉山 淳さん(神奈川県)
- ・信澤 淳一さん(神奈川県)
- ・齋藤 愛美さん(神奈川県)
- ・花田 靖子さん(静岡県)
- ・滝浪 朋美さん(静岡県)
- ・宮村 梨江さん (愛知県)
- ・伊奈 郁恵さん(愛知県)

順不同

6) 会員サービス

- ■自動車会館ホームページをリニューアル(**1/16**)
- ・メインビジュアルは新たなモビリティ社会をイメージさせる デザインを採用。当会館など3つのデザインがスライドショー で表示
- ・会館開設以来の初のリニューアルで、パソコンだけでなく スマートフォンやタブレット端末からもストレスなく閲覧可能
- ・新着情報など会館管理者が簡単に掲載・修正できるため情報 の機動性も向上



トップページ画面 下段



新着情報

2023/02/17	関連イベント	自動車税制改革フォーラムが「ユーザーの生の声」をパネル展示
2023/01/16	関連情報	ホームページリニューアルのお知らせ
2023/01/16	関連情報	日本自動車会館 乗用エレベーター利用方法改定のご案内
2023/01/11	関連イベント	日本自動車会館毎年恒例の「願掛け絵馬」の無料配布

施設概要

日本自動車会館は、自動車に関するあらゆる情報や資料を整えて公開し、 社会の要認に情極的に対応する中心として位置付けられています。

フロア案内

→

くるまプラザ

→

貸会議室

→



もっと見る→



委員会活動

■運営審議委員会

<委員長:永塚誠一 自工会副会長・専務理事>

第2回:総会上程議案審議(5/13)

第3回:理事会上程議案審議(3/2)



(写真は第2回)

■道路・交通委員会

<委員長:桝野龍二 全日本トラック協会理事長>

第1回:国交省道路局・自動車局と関連予算等の情報共有(12/8)

第2回:警察庁と22年交通事故状況の情報共有(3/30)



(写真は第1回)

■税制委員会

<委員長:佐藤康彦 自販連法規・税制委員長>

第1回:要望書案審議(10/6)

第2回:自動車議連 額賀会長との意見交換(3/3)



(写真は第2回)

■経済・産業委員会

<委員長:小糸正樹 自販連副会長・専務理事>

第1回:経産省自動車課と産業動向の情報共有(11/14)

